

広がる 支援の輪

1. ひとあし早く春を告げる“啓翁桜”

山形県村山市内の農家の方(匿名)から、ご好意により贈られました。

啓翁桜は、中国系のミザクラを台木にし、ヒガンザクラの枝変わりとして誕生したそうです。

贈られた啓翁桜(けいおうざくら)は、各プレハブ仮設住宅集会室や入居世帯、市役所玄関で一足早い春を告げようとしています。

※ 村山市と塩竈市は、「災害時における相互応援に関する協定(平成19年11月)」を締結し、東日本大震災直後にいち早く支援していただきました。他にも、食(村山のそばと塩竈の寿司)や祭(むらやま徳内まつりと塩竈みなと祭)など、様々な交流を行っております。



写真提供 村山市

2. 寒さを乗り切る“エコな湯タンポ”



福井県越前市長様から、寒さを乗り切る「エコな湯タンポ」1,000枚を寄贈されました。

浦戸地区の皆さんや仮設住宅入居者へ配布したいと考えております。(浦戸地区へは各区長から2月1日以降、伊保石・体育館プレハブ仮設住宅はふれあいサポートセンターが1月29日以降、配布予定)

※ 現在、越前市からは、震災の復旧復興業務の応援として、職員を派遣いただいております。

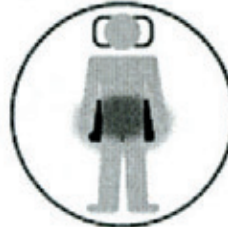
こんな時に...



冷やして、発熱時に



就寝時以外に



腰・肩の冷え、疲れに



つらい冷え性に

画像 製作元 HP より

震災の復旧復興支援のほかに、このような心温まる支援の輪が広がっています。塩竈市の復興した姿を見せることが、ご支援いただいた多くの方々への“感謝”になると思います。